

I. 平成30年度の実績

グループ名称	沖縄で木造の長期優良住宅を普及させる会			
H30採択グループ番号	07	—	0580	— 0792

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	お客様へ「安心感」「性能力」「他社との違い」をアピールすべく、品質面の重視はもちろんの事、工程管理やコスト面を見直す為の研修会を5回実施しております。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/09/04	名称	加盟店総会			
	内容	採択枠を全て活用できるよう、未経験工務店に対し説明会・研修会を行った。グループ特徴、長期優良住宅をアピールできるチラシを作成し、見学会で御施主様へ配布し、認知を図った。							
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/08/10	名称	現場見学会		●	
	内容	建売住宅(長寿命型)の現場完成見学会を2018年8月10日～12日の3日間開催。住宅新聞・ラジオ等で広告を出し集客。見学会場では、来客者に対し、構造や性能、省エネの部分アピールし安全性・快適性を周知してもらう活動を行った。							
③ 工務店	消費者説明会 2	有	開催日	2019/03/09	名称	アニバーサリーフェア ●			
	内容	パナソニックショールームを活用し、イベントを実施。木造住宅や各種認定住宅の説明をイベント会場にて行った。							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/10/11	名称	木造塾	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/12/14	名称	施工研修	タイプ	座学	●
	工務店研修会 3	有	開催日	2018/12/21	名称	現場施工研修	タイプ	実習	●
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有		
	内容	各種認定の適合証・評価証の申請スキームサポート。		
取組み②	サポートの有無 2	有		
	内容	長期優良住宅が沖縄地区でまだ普及率がない為、申請先も時間を要するとの事で、工務店と一緒に申請先へ出向き、早めに認定がおりよう工務店に対し、申請書作成のサポートをした。		
取組み③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	リビングベル	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	グループ内、構成員(施工)にてバックアップする体制をとりました。引渡し10年目以降の住宅瑕疵保険の延長(3年)保証を加入を推奨しました。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	省エネ技術講習会の受講をグループ構成員(施工)に促した。平成30年度の構成員(施工)は、全て受講済。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	沖縄地区は8地域の為、外皮計算の基準がなく、建築士会や工務店と情報交換を行い、どのような断熱方法が一番効果があるかを検討した。	
BELS工務店の登録数	1社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	沖縄で木造の長期優良住宅を普及させる会			
H30採択グループ番号	07	—	0580	— 0792

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/06/14	名称	19年度グリーン化事業説明会		
	内容	2019年度グリーン化事業に関し、共通ルールやイベント・研修会・昨年度からの変更点・注意点等の説明会を予定しています。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/07/13	名称	木造住宅イベント		
	内容	消費者に対し、木造住宅の構造や断熱・快適性・省エネ等の説明を含めたイベントを開催予定。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/05/20	名称	木造塾(造作・断熱・外装工事編)	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/06/17	名称	木造塾(情報サービス機関利用概要)	タイプ	座学
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	昨年度同様、技術的審査機関とタイアップし、各種認定のスムーズな申請を事務局が全数サポートする。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	リビングベル
------------	----------	-----	--------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	昨年度同様にグループ内、構成員(施工)にてバックアップする体制をします。引渡し10年目以降の住宅瑕疵保険の延長(3年)保証を加入します。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み(新築)	有						
内容	次年度の建築物省エネ法施行に向け、工務店が御施主様へ中身の説明ができるよう、研修会や資料作成を行う。8地域における断熱性能を工務店と検討(断熱材・省エネ設備機器の仕様など)						
省エネ化に対する取組み(改修)	有						
内容	省エネ設備の交換をすすめ、シミュレーション表などを使い御施主様へ提案する事を事務局が工務店に対しサポートする。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日				
内容						
研修計画 ②		実施日				
内容						

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	沖縄で木造の長期優良住宅を普及させる会				
H30採択グループ番号	07	—	0580	—	0792

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	当グループは、消費者様が安全・快適に過ごせる住まいづくりを目指します。その為に、建築基準法の1.5倍である「耐震等級3」や建築基準法の1.2倍である「耐風等級2」を満たし、最高レベルの住宅をつくります。 また、沖縄地区で心配されている「シロアリ」に対し、防蟻処理で対策をとっています。
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明						
主要構造材	土台	有	特になし				
	柱	有					
	梁・桁等の横架材等	有					
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無					
造作材	枠材、廻縁等	無					
板材	壁板、床板等	無					

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	木材・プレカット材の仕入れ先を元々もっていない工務店に対し、業者紹介を事務局が行う。事務局が各木材・プレカット材の業者を取りまとめ、コスト削減を行う。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	事務局が、メーカーとしてコスト削減を行う。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	グループ内の件名進捗を事務局が把握し、地域材の在庫状況などを毎月、各工務店へ情報発信する。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	共通の施工要領書に基づき、施工を実施する。木造建築に対し経験の浅い工務店社員には、施工研修(座学・現場)を事務局が行う。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	グループ共通の維持管理計画書を作成し、それに基づき引渡し後から点検を各工務店が実施する。また、維持管理計画書の内容を御施主様へも引き渡し時に必ず説明する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	グループ構成員の設計で全数検査を行っていく。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	無	
内容		
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	特になし	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	法定労働時間(40時間/週)に近づけるよう、各工務店に対し、事務局が説明会を開催し取組を行ってもらう。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	建築業に関わる国家資格の取得をすすめ、取得した社員に対し資格手当を与える制度を推奨する。
③ 社会保険への加入	有	内容	各社、社会保険に加入しているか事務局が確認する。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	構成員に対し、安全保護具の着用・電動工具の適正使用・脚立の適正使用・熱中症対策・災害時連絡表の作成等の研修会を開催予定。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	沖縄で木造の長期優良住宅を普及させる会			
H30採択グループ番号	07	—	0580	— 0792

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	1住宅に対し、和室を1室設ける事を推奨します。
② 和瓦の活用	有	内容	沖縄地区は、台風の通り道である事から「和瓦」の場合、風のあおりを受け瓦が飛散する事が懸念される為、風のあおりを受けづらい「スレート瓦」を推奨しています。
③ 襖・障子の活用	有	内容	和室を設ける住宅は、和をイメージする為に襖・障子での間仕切を推奨し、障子と間接照明を融合させ落ち着いた空間づくりを心掛けます。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	和室の畳については、「琉球畳」の使用を推奨します。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	無	内容	
② 地域の住まい方の継承	有	内容	ショールームにて、省エネ商材や住宅内部の設備機器・内装建材等のお手入れ方法などのアドバイスができる住宅相談会を開催予定です。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	各建設地における街並み景観ガイドラインに沿った住宅づくりに取り組みます。

C 被災地の復興に資する取組み

①東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	特になし		
②地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	大型の台風が発生した場合、台風通過後に各社にて住宅に被害がないか点検調査を行い、不具合がでた住宅には修繕計画をたて修繕実施を行う。		